
天使なカレと悪魔なカレ

ユキナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天使なカレと悪魔なカレ

【Nコード】

N4696Y

【作者名】

ユキナ

【あらすじ】

キャスト

やまてこころ

山手心

かわさきたくと

川崎拓斗

くどつちが本性？

初めましての方は、初めまして。

私を書いた『天使なカレと悪魔なカレ』のプロローグを見てくださった方は、お久しぶりです。

実は、ここで小説を書くためには、パスワードとIDまたはメルアドを書かないといけないんですが、パスワードを忘れてしまったので、新しくパスワードとかを作ったので、新規小説になっちゃいました。

でも、プロローグはもう書いているので、ここには書きません。

名前はそのまま『ユキナ』です。

パスワードとメルアドとID以外はなににも変わっていません。

これを先に見てしまつて話が分らない人はプロローグを見てください。

まあ、プロローグしか書いていなかったんで、そんなことは無いと思いますけど……。

初心者ですが、頑張りますので、応援よろしく願います!!!

くどつちが本性？」

ピピピ・ピピピ・ピピピ

枕元に置いていた目覚まし時計になる。

「ううん。どこ？」

心が眠たい目をこすりながら、手だけを動かして時計を探す。

ピピピ・ピピピ・ピピッ

「やっと止まった。ふあ」

まだ眠たそうにアクビをするのと同じくらいにお母さんが呼ぶ。

「心、そろそろ起きなさい！」

てか、もう起きてるし。

はあ、まだ火曜かあ。

「心！いいかげんに起きなさい！！！」

「っ！！！！はい！」

ビックリした。

お母さんいきなり叫ばないでよ！

って、お母さん怖いから早く下に降りようって。

トントントン

階段を降りていると、イイ香りがした。

ん？この香り、今日の朝ごはんはパンかなあ？

「あつ、紘おはよう」

「ん？なんだ、姉ちゃんか」

私で悪かったなあ、コノヤロ。

あつ、紘っていうのは、私の弟。

なんか最近、紘が生意気になってきたのは気のせい？

昔はスゴイ正直で可愛かったのに、いつのまにこんな子に育ったんだろ？

もしかして、反抗期？

本当に反抗期かも！紘中1だし、反抗期がある歳だもんね。

「コラ！心そんなとこに突っ立ってないではやく顔洗ってきなさい！そろそろ拓斗君が来るわよ」
はっ！ぼーっとしてた。

「フツ、怒られてやんの」
鼻で笑われたし。

そんなことより早く洗おうっと。

「いっただつきまゝす！」

顔を洗い終わって、朝ごはんを食べようとしている。

フフン、やっぱりパンだったな！

私ってスゲーw

てか、このパンすごい美味しい。

「ハハッ、姉ちゃんってうまそうに食うよな」

「そう？悪い？」

なによ、美味しいんだもん。美味しそうになって当たり前でしょ？
美味しそうに食べてるのが悪い？

「誰も悪いなんて言ってねえだろ」

「姉ちゃんはそのままだが1番好きなんだからな」

「ん？『悪いなんて言ってねえだろ』の後なんか言った？」

「なんも言ってねえよ。空耳じゃね？」

空耳なのかな？まっ、いいか！

ピンポーン

誰か来た。

「心、拓斗君きたわよ」

えっ！まだ準備出来ないんだけど！

「今着替えてくる」

急いで階段を駆け上がる。

なんで拓斗っていつもこんなに早く起きれるんだろ？不思議だ。
コンコン

着替え終わってもうメイクをしていたら、誰かきた。

「姉ちゃん、入っていい？」

紘か。

「イイよ」

ガチャ

「もうメイクしてるんだ。じゃあいつものやるよ？」

「うん、ヨロシク」

『いつもの』っていうのは、私がメイクするときに、紘が私の髪を巻くこと。

いつも時間ギリギリまで寝てるから、学校に遅れないように時間短縮。

反抗期でもこれは毎日してくれるんだ

「よし、メイク終わり！」

「俺も髪終わり」

おお！やっぱり私がやるより紘がやった方が上手いなあ。尊敬。

「ありがと、じゃあいつてくるね」

「ん、いつてらっしゃい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4696y/>

天使なカレと悪魔なカレ

2011年11月17日19時34分発行